

小規模企業の景況

(令和3年7～9月期)

大阪商工会議所による小規模企業の景況調査(四半期毎)令和3年7～9月期の結果概要は以下の通り。今期(令和3年7～9月期、調査基準日:9月1日)の業況判断DIは▲29.3、前回調査から6.1ポイント改善となり、中小企業の業況判断DIは2期連続して改善した。売上額DIは▲29.6(前回調査から6.1ポイント悪化)となっており、従業員数過不足DIは▲9.1(前回調査から▲3.5)となり2期連続して中小企業の人手不足感が強まった。「経営上の問題点」では前回調査からサービス業が加わって、3業種で「需要の停滞」が第1位となった。一方、小売業では「消費者ニーズへの変化の対応」が急増し、第1位となった。また製造業・卸売業では原材料・仕入れ単価の上昇が引き続き第2位の問題点となっている。

1. 今期(令和3年7～9月期)の状況

【売上額】今期(令和3年7～9月期)の売上額DI(全産業)は、前回調査(令和3年4～6月期)の(▲23.5)から6.1ポイント悪化し、▲29.6となった。業種別では前回調査から、製造業が9.6ポイント改善し、卸売業が5.1ポイント、小売業が15.7ポイント、サービス業が13.4ポイントそれぞれ悪化した。

【資金繰り】今期の資金繰りDI(全産業)は、前回調査(▲21.1)から0.2ポイント悪化し、▲21.3となった。業種別では前回調査から、製造業が0.3ポイント、小売業が6.8ポイントそれぞれ改善し、卸売業が3.4ポイント、サービス業が3.9ポイントそれぞれ悪化した。

【業況判断】今期の業況判断DI(全産業)は、前回調査(▲35.4)から6.1ポイント改善し、▲29.3となった。業種別では前回調査から、製造業が11.2ポイント、卸売業が21.4ポイントそれぞれ改善し、サービス業は横ばい、小売業は6.6ポイント悪化した。

【従業員数過不足】今期の従業員数過不足DI(全産業)は、前回調査(▲5.6)から3.5ポイント悪化し、▲9.1となった。業種別では前回調査から、製造業が1.2ポイント、卸売業が4.7ポイント、小売業が7.5ポイント、サービス業が1.2ポイントそれぞれ悪化した。

2. 来期(令和3年10～12月期)の予想

来期(令和3年10～12月期)の全産業の予想DIは、売上額▲17.1、資金繰り▲20.6、業況判断▲23.7となった。

3. 経営上の問題点

製造業、卸売業、サービス業の3業種で「需要の停滞」が第1位となり、小売業では「消費者ニーズの変化への対応」が第1位となった。

※DI値とは……ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、本調査では前年同期(令和2年7～9月期)と比較して売上額、業況判断、資金繰りなどが「増加」「好転」したなどとする企業割合から、「減少」「悪化」したなどとする企業割合を差し引いた値である。

【調査の概要】

- ・調査名：第165回中小企業景況調査（中小企業庁・中小企業基盤整備機構）
 - ・調査時期：令和3年8月23日～9月1日（前回：令和3年5月21日～6月1日）
 - ・調査方法：経営指導員による、調査票に基づく聴取り調査
 - ・調査対象：大阪市内の中小企業・小規模事業者
 - ※ 全国7,954件中、大阪商工会議所分324件。
 - ※ 本紙では、大阪商工会議所分のうちとくに小規模事業者（従業員：製造業20人以下、商業・サービス業5人以下）287件について取りまとめた。
- 〔製造業75件、卸売業63件、小売業67件、サービス業82件〕

■DI推移（全産業）

	162回調査	163回調査	164回調査 (前回)		165回調査 (今回)	
	R2(2020年) 10～12月期	R3(2021年) 1～3月期	R3(2021年) 4～6月期	R3(2021年) 7～9月期	R3(2021年) 7～9月期	R3(2021年) 10～12月期
売上額（増-減）	-53.8	-52.4	-23.5	-23.9	-29.6	-17.1
資金繰り（好-悪）	-23.3	-26.0	-21.1	-16.5	-21.3	-20.6
業況（好-悪）	-47.3	-48.3	-35.4	-25.3	-29.3	-23.7
従業員（過-不）	-7.2	-5.5	-5.6		-9.1	

■経営上の問題点

順位	製造業	件数	卸売業	件数	小売業	件数	サービス業	件数
1位	需要の停滞 →	20 (27)	需要の停滞 →	28 (31)	消費者ニーズへ の変化への対応 ↑	12 (6)	需要の停滞 ↑	14 (17)
2位	原材料価格の上昇 →	16 (10)	仕入単価の上昇 →	9 (6)	その他（コロナ 禍による消費の 落込み等）→	11 (11)	その他（コロナ 感染症の影響 等）↓	12 (19)
3位	生産設備の不足・老朽化 ↑	8 (6)	その他（コロナ 感染症の影響等） ↑	4 (4)	需要の停滞 ↓	8 (12)	利用者ニーズの 変化への対応 →	9 (7)
			大企業の進出 による競争の 激化↑	4 (3)				
			小売業の進出 による競争の 激化↑	4 (3)				

[注]（ ）内は前回（令和3年4～6月期）調査結果

↑＝前回より高順位

→＝前回と同順位

↓＝前回より低順位

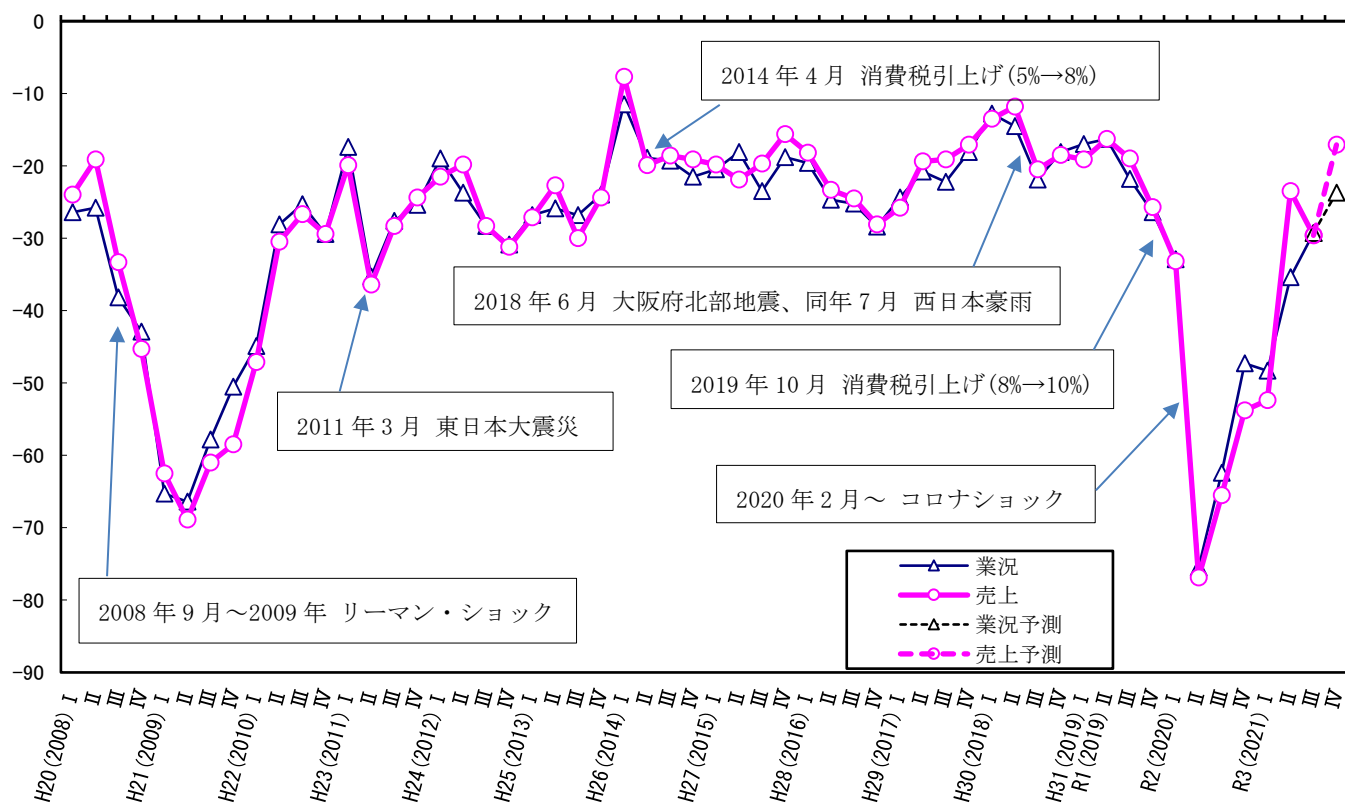
■ 状況比較表（業種別）

項目	業種	今期の状況(7~9月期)				前回(4~6月期)からの推移	来期の予想(10~12月期)			
		増加	不変	減少	増一減		増加	不変	減少	増一減
売上額										
	製造業	29.3	29.3	41.3	▲ 12.0	9.6	22.7	38.7	38.7	▲ 16.0
	卸売業	15.9	36.5	47.6	▲ 31.7	▲ 5.1	17.5	44.4	38.1	▲ 20.6
	小売業	19.4	22.4	58.2	▲ 38.8	▲ 15.7	19.4	35.8	44.8	▲ 25.4
	サービス業	8.5	46.3	45.1	▲ 36.6	▲ 13.4	22.0	47.6	30.5	▲ 8.5
	合計	18.1	34.1	47.7	▲ 29.6	▲ 6.1	20.6	41.8	37.6	▲ 17.1
	前回	23.5	29.5	47.0	▲ 23.5		17.5	40.7	41.4	▲ 23.9
資金繰り		好転	不変	悪化	好一悪		好転	不変	悪化	好一悪
	製造業	9.3	60.0	30.7	▲ 21.3	0.3	4.0	68.0	28.0	▲ 24.0
	卸売業	4.8	73.0	22.2	▲ 17.5	▲ 3.4	6.3	73.0	19.0	▲ 12.7
	小売業	7.5	65.7	26.9	▲ 19.4	6.8	7.5	61.2	31.3	▲ 23.9
	サービス業	4.9	63.4	30.5	▲ 25.6	▲ 3.6	3.7	70.7	24.4	▲ 20.7
	合計	6.6	65.2	27.9	▲ 21.3	▲ 0.2	5.2	68.3	25.8	▲ 20.6
	前回	9.1	59.3	30.2	▲ 21.1		10.5	61.1	27.0	▲ 16.5
業況		好転	不変	悪化	好一悪		好転	不変	悪化	好一悪
	製造業	20.0	34.7	45.3	▲ 25.3	11.2	10.7	40.0	44.0	▲ 33.3
	卸売業	17.5	38.1	44.4	▲ 27.0	21.4	14.3	52.4	30.2	▲ 15.9
	小売業	13.4	35.8	49.3	▲ 35.8	▲ 6.6	17.9	34.3	46.3	▲ 28.4
	サービス業	9.8	51.2	39.0	▲ 29.3	0.0	14.6	52.4	31.7	▲ 17.1
	合計	15.0	40.4	44.3	▲ 29.3	6.1	14.3	44.9	38.0	▲ 23.7
	前回	14.4	34.7	49.8	▲ 35.4		11.6	46.7	36.8	▲ 25.3
従業員		過剰	適正	不足	過一不					
	製造業	9.3	70.7	17.3	▲ 8.0	▲ 1.2				
	卸売業	3.2	84.1	9.5	▲ 6.3	▲ 4.7				
	小売業	1.5	76.1	9.0	▲ 7.5	▲ 7.5				
	サービス業	3.7	74.4	17.1	▲ 13.4	▲ 1.2				
	合計	4.5	76.0	13.6	▲ 9.1	▲ 3.5				
	前回	5.6	75.1	11.2	▲ 5.6					

「今期の状況（除従業員）」は平成33年7~9月期状況であり、前年同期の平成32年7~9月期との比較。来期の予想は平成33年10~12月期予想であり、平成32年10~12月期との比較である。

「前回」欄は平成33年4~6月期調査の数字。従業員は、過去との比較ではなく、業務量に照らした過不足。

■景況グラフ（売上額・業況）



※表示値＝D I（増加・好転－減少・悪化）値

※ I 期=1-3月、II 期=4-6月、III 期=7-9月、IV 期=10-12月

※令和3年IV予想値